

さやま

Vol.395

目次・トピックス

暮らしの情報 2~6
 博物館キャラクターの名前が決定
 正・副議長、各委員会委員を選任
 健康づくり講座を開催
 市民の情報 6
 相談案内 7

お知らせ版 2004. 5.25

保護者の皆さん・地域の皆さん、ぜひご協力ください

学校内に遊びと体験の場をつくります



「放課後は塾、休日はクラブ」など、忙しい子どもが増えています。また、子どもを狙った事件が多いため、大人の目の届かない場所で遊んではいけない」と言われ、公園などで遊ぶ子どもを見かけなくなりました。そんな子ども達が空いた時間に気軽に遊びに来て、さまざまな体験ができる安全な場所づくりの必要性が高まっています。そこは、地域の教育力を生かし、地域全体で子どもを育てる実践の場でもあります。市では、文部科学省の「子どもの居場所づくり新プラン」地域子ども教室推進事業を受託し、入間川小学校と堀兼小学校で事業を始めます。

子ども達の自主性を尊重し

地域の教育力を生かす

今年度は、モデル2校で、基本的に校区内の児童を対象に事業を行い、今後は市内各地に広めていきます。

子ども達は忙しい毎日を送っています
 市では、この事業を始めるに当たり、実施2校の2、6年生の児童と1、6年生の保護者に、アンケート調査を行いました。
 その結果、子ども達の多くは毎日のように塾や習い事などに通っていて、とても忙しいことが分かりました。そして空いた時間で、短時間でできる遊びを楽しんでいるようです。また、保護者の回答では、日曜日は家族で遠出をしたり、買い物に行くことが多いと家族で過ごす時間を大切にしている家庭が多いことが見受けられました。

事業では、子どもがくつろげる場所として子ども自身の自主性を尊重し、運営します。そしてスポーツや文化活動遊びなど、さまざまな体験で豊かな人間性を養えるよう、地域の団体・個人の指導力を生かした多彩なメニューを用意し、子ども達のよさを見守りながら組み合わせ、プログラムを見直していきます。プログラムは地域で活動している団体や個人で組織する校区企画会議で決定します。この会議で地域の声や知識・経験を反映させ、地域性を織り交ぜた取り組みを目指します。

基本実施日はアンケート結果から比較的子ども達が参加しやすい保護者や地域の皆さんの協力が得られやすい土曜日の午前中となりました。実施回数は両校とも年間25回程度とし、実施日やプログラムは学校を通じて子ども達にお知らせします。

問合せ生涯学習課内狭山子ども居場所づくり実行委員会事務局へ
 内線5673

地域の教育力を生かした遊びと体験の場づくり

この事業では、学校の教室や校庭を利用し、子ども達の新たな居場所となるよう校区ごとにプログラムを作っています。保護者の皆さん・地域の皆さん、子ども達がさまざまな体験を通じてより心豊かにたくましく成長できるよう、地域の教育力を生かし、ぜひ、この事業にご協力ください。そして、保護者をはじめとする地域全体で、狭山市の宝である子ども達を育て、見守りましょう。

